

Briefing Transcription

|| 対談動画文字起こし（2025 年 12 月 4 日公開） ||

GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社 × DAIBOUCHOU

3788 東証プライム市場 情報・通信業

[企業情報はこちら >>>](#)

[紹介動画はこちら >>>](#)

2025 年 12 月 4 日 (木)



FISCO Ltd.

<https://www.fisco.co.jp>

■ 目次

■ 出演者	01
■ 冒頭のあいさつ	02
■ 企業説明	03
■ 質疑応答	10
■ 終わりのあいさつ	26

■ 出演者

GMO グローバルサイン・
ホールディングス株式会社
代表取締役社長執行役員

青山 満様

著名投資家

DAIBOUCHOU

株式会社フィスコマーケットレポーター

高井 ひろえ（司会進行役）

■ 冒頭のあいさつ

▲フィスコ 高井

皆様、こんにちは。フィスコマーケットレポーターの高井ひろえです。今回は、GMO グローバルサイン HD 株式会社 代表取締役社長執行役員 青山 満（あおやま みつる）様にご登壇いただき、前半部分では企業説明、後半部分では著名投資家である DAIBOUCHOU さんからの質問にお答えいただきたいと思います。それでは、本日登壇いただく、青山様、DAIBOUCHOU さんをご紹介します。まずは、青山様です。よろしくお願い致します。

■ GMO グローバルサイン HD 青山様

こんにちは。本日はよろしくお願い致します。

▲フィスコ 高井

青山様は、東京航空計器を経て 1995 年にアイル（現 GMO グローバルサイン・ホールディングス）へ入社。1997 年より代表取締役社長として経営を担い、GMO インターネットグループ取締役や日本ジオトラスト、GMO デジタルラボの取締役も兼務し、セキュリティ・デジタル事業の発展に尽力。現在は GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社の代表取締役社長執行役員として連結企業集団を牽引されています。続いて、著名投資家の DAIBOUCHOU さんです。よろしくお願い致します。

● DAIBOUCHOU

こんにちは。本日はよろしくお願い致します。

▲フィスコ 高井

DAIBOUCHOU さんは、200 万円の元手を一時 10 億円に乗せた実績を持つ著名な個人投資家です。2000 年 5 月に株投資開始し、IT バブル崩壊時の暴落を資産バリュー株で回避し、不動産株への逆張り投資で 2004 年 10 月に資産 1.5 億円を達成。専業投資家となり、X (twitter) のフォロワーは 13 万人を超えています。

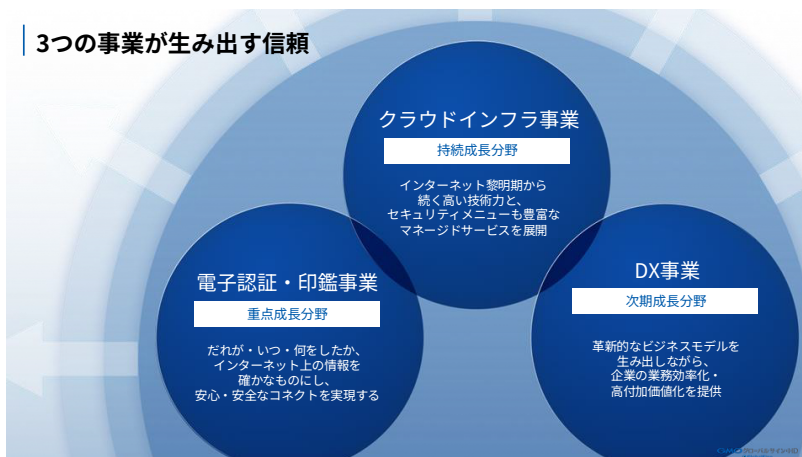
青山様、DAIBOUCHOU さん、よろしくお願い致します。それでは、まずは、青山様に企業説明を実施いただきます。DAIBOUCHOU さんも適宜気になる点などございましたらお話しいただければ幸いです。よろしくお願い致します。

企業説明

■ GMO グローバルサイン HD 青山様



よろしくお願いいたします。GMO グローバルサインホールディングスの青山でございます。
当社は一言で申し上げますと、電子認証を中心に、デジタル社会の「信頼」を支える企業です。インターネットの世界では、相手の姿が直接見えない場面も多いのですが、その相手と安心してつながることができる社会を実現することを目指しています。



事業は大きく3つございます。まず、ネットの信頼基盤を提供する「電子認証・印鑑事業」。次に、企業のシステムを支え、信頼を構築する「クラウドインフラ事業」。そして、企業の生産性向上に貢献する「DX事業」です。

企業説明

当社が解決する社会課題

- オンライン上のなりすまし問題
⇒ **電子認証局**で信頼の基盤を担う
- 情報漏えいリスクの高まり
⇒ **シングルサインオン (SSO)** で安全な認証環境の提供
- 増え続けるランサムウェア攻撃
⇒ **VMC (企業ロゴ所有証明書)** による信頼の見える化

3

GMO グローバルサインHD
#GMSignage

当社のサービスは、皆さまの身近な脅威の解決にも役立っています。例えば、オンライン上の“なりすまし”問題に対しては、電子認証局として信頼の基盤を提供することでリスクを低減しています。情報漏洩リスクの高まりには、シングルサインオンによる安全な認証環境の提供で対応しています。また、増加し続けるサイバー攻撃に対しては、企業ロゴ所有証明書の発行により、信頼の「見える化」に貢献しています。ネットの信頼を支えるインフラというと難しく感じられるかもしれませんが、皆さまが安心してインターネットを利用できるよう、その“裏側”を当社が支えています。

価値成長を生む、当社の強み

1. 国内シェアNo.1、世界が信頼する **電子認証局**を運営
2. 持続的成長を支える22の **岩盤ストック収益**
3. 230超の国と地域で導入実績、**グローバル展開**

4

GMO グローバルサインHD
#GMSignage

本日は、こうした当社の強みについて、3つのポイントからご紹介させていただきます。

企業説明

信頼の基盤を担う、世界トップ4の国産電子認証局 | GlobalSign

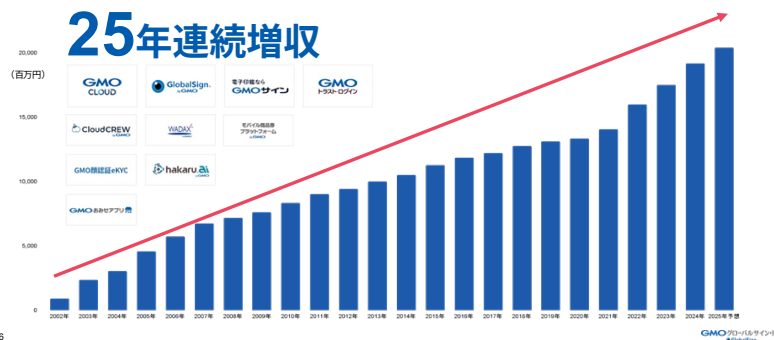
高い信頼の実績、あらゆるインターネットサービスへ電子証明書を提供



まず 1 点目です。当社は世界展開する電子認証局として、インターネット上で「本物」であることを証明する役割を担っています。日本国内シェアは 1 位です。世界の競合企業ではブランド再編が続いていますが、当社は 29 年間にわたりブランドを守り、継続して安定した実績を積み重ねてきました。世界的にも高い信頼を獲得している企業と言えると考えています。

価値創造の原動力 | 岩盤ストック収益

成長を支える 22 のストック型事業



2 点目の強みは、売上高の大部分がストック型事業で構成されている収益モデルです。現在、22 のストック型事業を展開しており、これにより 25 年連続の増収を達成しています。これらの事業が成長の原動力となっています。

企業説明

価値創造の原動力 | 健全な財務体質

健全な財務体質と、
成長を支える
キャッシュ創出力

自己資本比率 : 「純資産÷総資本」企業の財務的健全性や安全性を示す指標。
ネットキャッシュ : 「現金・預金」から「有利子負債」を差し引いた額。企業の金融的余裕や支払い能力を示す指標。
営業キャッシュフロー : 営業活動により得た収支を指し、本業の収益性を示す指標。

自己資本比率
52.5%

ネットキャッシュ
54億円

営業キャッシュフロー
27億円
営業キャッシュフローマージン
14.5%

※2024年12月末現在
GMOグローバルサインHD
#GMSHD

また、健全な財務体質と、成長を支える十分なキャッシュ創出力を実現しています。

価値創造の原動力 | グローバル展開



230を超える
国と地域で
サービス導入実績



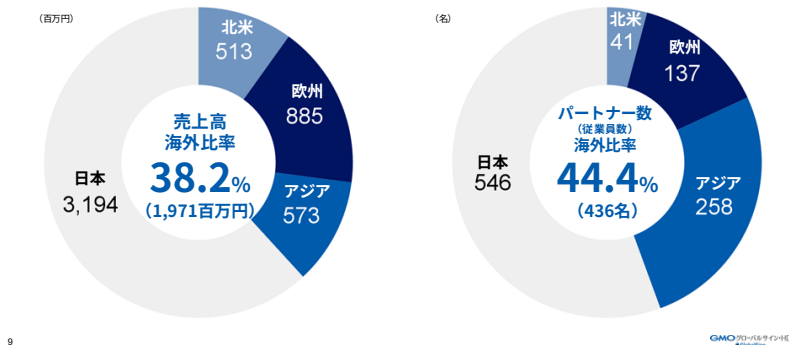
GMOグローバルサインHD
#GMSHD

3 点目はグローバル展開です。現在、11 カ国に拠点を置き、230 を超える国・地域でサービスをご利用いただいています。グローバルの視点で事業を推進する一方、日本発の認証局としての独自性を保っている点は当社ならではの強みです。

企業説明

価値創造の原動力 | グローバル展開

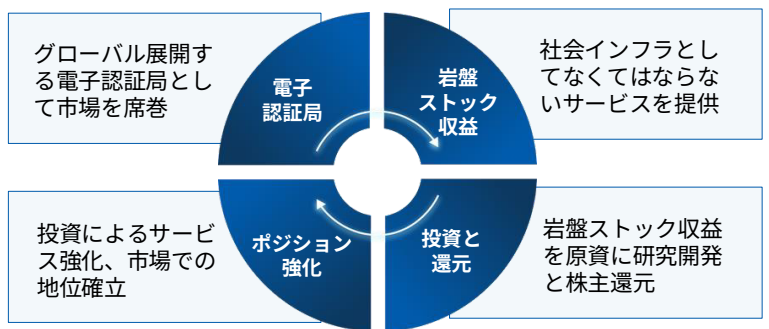
グローバル基盤を活かし、さらなる成長ステージへ



また、当社はグローバル基盤の強化を続けており、売上高の約 4 割、従業員（私たちは“パートナー”と呼んでいます）の約半数が海外拠点に所属しています。拡大を続けるデジタルトラスト市場を確実に取り込み、さらなる成長を目指しています。

価値創造の原動力 | 持続的な成長を生み出す循環

ストック型事業・グローバル展開・新領域への挑戦により企業価値向上を狙う

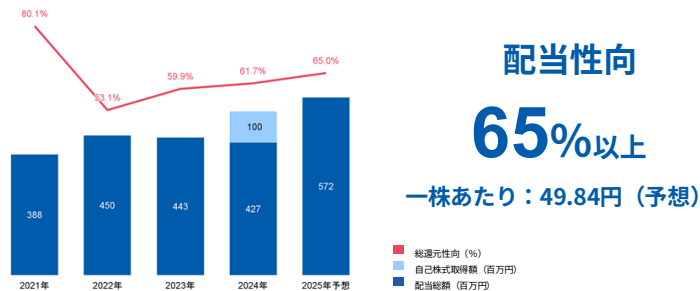


以上が、当社の 3 つの強み、(1) 電子認証局としての信頼性、(2) ストック型事業による健全な財務基盤、(3) グローバル展開です。これらが、当社が新領域へ挑戦し続けるための体制を支え、持続的な成長を生み出す好循環を形成しています。

企業説明

価値創造の原動力 | 配当性向

株主還元を2025年12月期より従来の「50%」から引き上げ



11

GMOグローバルサインHD
#GMSHD

この循環を背景に、2025 年 12 月期より配当性向を従来の 50% から 65% 以上へ引き上げました。今後も、株主の皆さまとの長期的な信頼関係を築けるよう、安定した株主還元と持続的な成長の両立を目指してまいります。

2025年Q3 決算ハイライト

売上高	海外の売上成長が電子認証事業を牽引 売上高は前期比 7.4%増 の 15,108 百万円
営業利益	電子認証事業の業績回復により増益 営業利益は前期比 20.6%増 の 983 百万円
重点商材	高成長率を維持 電子印鑑GMOサイン、 33.9%増 GMOトラスト・ログイン、 33.8%増 ※売上対前期比

12

GMOグローバルサインHD
#GMSHD

最後に、直近の第3四半期決算についてご説明します。売上高は前年同期比 7.4% 増の 151 億円、営業利益は同 20% 増の 9 億 8000 万円となり、増収増益を達成しました。重点商材である「電子印鑑 GMO サイン」と「GMO トラスト・ログイン」も、ともに 34% と高い成長率を維持しています。

企業説明



また、当社は「信頼を設計し、世界をつなぐ。」という理念を掲げています。インターネットは、先ほど申し上げたように相手の姿が直接見えない世界です。リアルの世界とは異なり、誰とつながっているのかが分かりづらい環境にあります。そのような中で、安心して“信頼してつながる”ことのできる社会を実現することが私たちの使命です。今後、インターネットはさらに進化し、複雑化していくと考えています。それに伴い、新たな信頼の仕組みを継続的に設計し、持続的な成長と企業価値の向上に挑み続けてまいります。

以上が当社からのご説明となります。よろしくお願いいたします。

▲フィスコ 高井

青山様、ありがとうございました。

続きまして、著名投資家の DAIBOUCHOU さんに気になる質問をしていただきたいと思います。それでは、DAIBOUCHOU さん、お願いいたします。

■ 質疑応答

● DAIBOUCHOU

先ほどの会社説明を伺っていて感じたことがあります。私は X(旧 Twitter)でも“なりすまし”の被害が多く、投資詐欺に利用されるケースも見受けられます。私のイラストは簡単に入手できるため、偽物の著名人広告に悪用されることもあります。

このような被害は、御社のサービスを利用することで防ぐことができるのでしょうか。

■ GMO グローバルサイン HD 青山様

画像や動画を用いた“なりすまし”は、社会的にも大きな課題になっています。特に自治体や行政も強い関心を示しており、実際に過去の災害時にはフェイク映像が多数流れ、現場の救助活動に影響を与える深刻な問題となりました。多くは愉快犯によるものですが、影響は決して小さくありません。

現時点では、当社としてこの分野のサービスを提供できていたわけではありません。世界的なルールがまだ整備されていないことも背景にあります。しかし、技術的にどのような仕組みで信頼性を担保するかについては、国際的にも方向性が固まりつつあります。

当社では、映像分野の事業者、具体的にはテレビ局やカメラメーカーなどと連携し、実証実験を進めています。また、国際的な取り組みとして「C2PA」という団体とも協力しており、次のステージとしてサービス化がそう遠くない将来に可能になると考えています。現在は、この領域に積極的に参画し、実証段階を進めているところです。

● DAIBOUCHOU

なるほど、よく分かりました。Facebook でも偽物広告が大きな問題になっており、著名人をかたる詐欺広告の被害が拡大しています。ぜひ御社の技術が、この問題の解決につながることを期待しています。

■ GMO グローバルサイン HD 青山様

ありがとうございます。画像がどこで作られ、どの段階で改ざんされたかを証明する仕組みを、カメラで撮影した瞬間から一貫して確保する、そうした国際的なルール作りが、現在進められています。実用化にはもう少し時間を要すると思いますが、当社としても“世界の信頼を守る”立場から、しっかりとサービス化に取り組んでまいります。

● DAIBOUCHOU

そうですね。電子認証は専門性が高く、一般の方には分かりにくい部分もあると思います。今回の例のように、私にも直接関わるテーマもありますので、少し具体例を質問させていただきました。ありがとうございます。では、最初の質問ですが、今回この対談動画に出演しようと思われた理由を教えてくださいませんか。

質疑応答

■ GMO グローバルサイン HD 青山様

はい。当社のサービスは非常に分かりにくく、社会の仕組みの“裏側”で信頼を支える役割を担っているため、一般の個人の方には見えにくい部分が多いという課題があります。そのため、これまで個人投資家の皆さまには十分に当社の強みを知らせていただく機会がありませんでした。

一方で、機関投資家の皆さまには積極的に情報発信してきましたが、個人投資家向けの IR はまだ十分ではないと感じていました。そこで今年 6 月以降、個人投資家向けの IR 活動を強化しています。その中で、分かりにくいサービスだからこそ、私が一方的に説明するよりも、こうした“対談形式”のほうが理解を深めていただけるのではないかと考えました。今回出演をお願いした背景には、そのような思いがあります。

● DAIBOUCHOU

分かりました。ありがとうございます。確かに、セキュリティ分野の上場企業はいくつもありますが、具体的にどのようなサービスを提供しているのか分かりにくいケースが多いと感じています。今回の対談では、そのあたりも分かりやすくお伺いできればと思っています。

次に、御社の主力商品である「電子印鑑 GMO サイン」についてお聞きします。この分野は国内外から多くの競合が参入しており、非常に競争が激しい市場だと思います。電子印鑑 GMO サインの競合優位性について教えてくださいませんか。

■ GMO グローバルサイン HD 青山様

電子署名・電子印鑑サービスとは？

従来紙と印鑑で行われていた契約業務を、インターネット上で電子的に締結するサービスです。
業務効率化やコスト削減はもちろん、紙契約による紛失や機会損失リスク、紙の削減といった社会課題にも貢献しています。



はい。当社が提供する電子契約サービス「電子印鑑 GMO サイン」は、10 年前にサービスを開始し、現在も大きく成長している重点投資分野です。電子印鑑 GMO サインは、従来紙と印鑑で行っていた契約業務を、インターネット上で電子的に締結できるサービスです。

このサービスは、改ざん防止というセキュリティ面だけでなく、紙からデータへの移行による業務効率化やコスト削減も同時に実現できます。また、契約書だけでなく、国や自治体が発行する公文書、大学が発行する卒業証明書などにも利用されています。

質疑応答

改ざんされない信頼性、電子署名 | 電子印鑑なら GMOサイン

電子印鑑GMOサインの競合優位性



国内上場企業の約75%が利用中

15

GMOグローバルサイン®
#GMOsign

ご質問のとおり、電子契約サービスは競合の多い市場ですが、当社の競合優位性は大きく3つあります。

1つ目は「セキュリティ」です。ISMS や SOC2 など、多くのセキュリティ認証を取得しており、大手企業や自治体にも安心して選んでいただいています。

2つ目は「高い機能性とコストパフォーマンス」です。自社開発にこだわることで、新しいサービスや機能を迅速に提供できています。また、電子契約に欠かせない「署名」に用いる電子証明書を、当社は自社で発行できます。外部から仕入れる必要がないため、結果として非常に高いコストパフォーマンスを実現しています。

3つ目は「サポート体制」です。導入前から導入後の運用まで手厚いサポートを提供しています。他社では電話サポートが標準プランに含まれないケースもありますが、当社は標準プランで電話サポートを提供し、また、相手先への電話サポートもカバーしており、電子契約を初めて利用する企業でも安心して導入していただける体制です。

電子印鑑なら 電子印鑑なら GMOサイン

国内の公共団体・金融・不動産・サービス業など幅広く提供



16

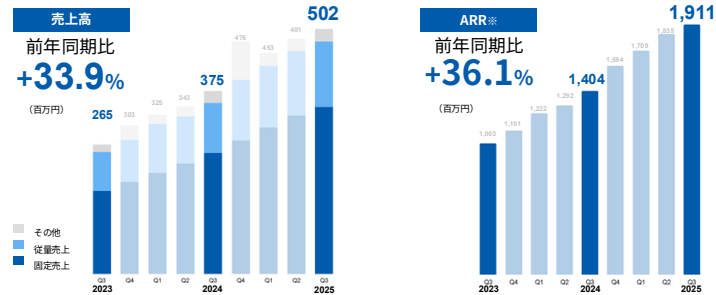
GMOグローバルサイン®
#GMOsign

こうした強みにより、上場企業におけるシェアは75%を超え、公共団体をはじめ、金融・不動産・製造・サービス業など幅広い業界で採用されています。国内のあらゆる分野で利用されていることが、サービスの信頼性と社会的必要性を裏付けていると考えています。

質疑応答

電子認証・印鑑事業 | **GMOサイン**
四半期売上高・ARR推移

売上高・ARRともに **30%超の高成長** により営業黒字を継続



これらの競合優位性を背景に、電子印鑑 GMO サインは第3四半期で売上高5億円を突破し、前年同期比34%増と引き続き順調に成長しています。

● DAIBOUCHOU

成長性が非常に高く、ARR（年間経常収益）も安定して伸びていて、今後ますます期待できるサービスだと感じています。私自身、セミナー登壇依頼などで電子契約を利用していますが、紙の契約に比べて郵送が不要ですし、印紙も貼らなくて良いんですね？

■ GMO グローバルサイン HD 青山様

はい。電子契約の場合は印紙税が不要です。特に不動産売買のように金額の大きな契約では、印紙代が大幅に削減できるため、お客様にとって大きなコストメリットがあります。

● DAIBOUCHOU

そうですね。私自身、契約が非常にスムーズで、利用者として料金を支払わずに済んでいるので、本当にありがたいサービスだと感じています。

■ GMO グローバルサイン HD 青山様

ありがとうございます。電子契約は簡便であるだけでなく、紙の契約に比べて“改ざんリスクが極めて低い”という点も大きな特徴です。基本的には改ざんできない仕組みになっています。

● DAIBOUCHOU

なるほど。文書の内容を修正すると、その履歴が電子的に残るということですか？

■ GMO グローバルサイン HD 青山様

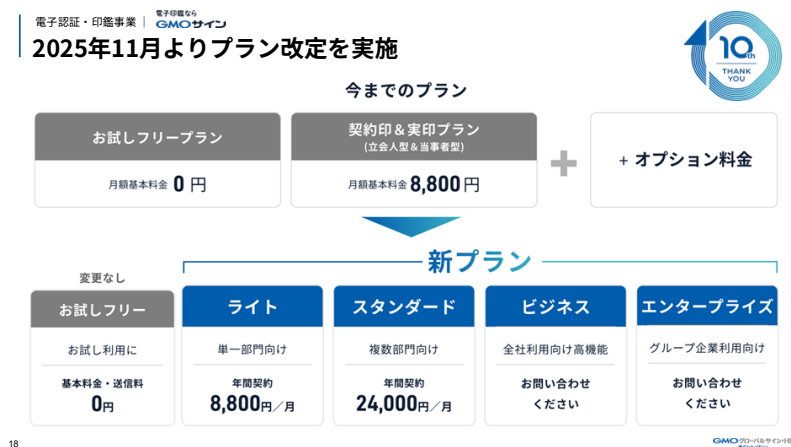
はい。修正履歴も残りますし、電子証明書の仕組みにより、もし改ざんが行われれば証明書自体が破損します。ですので、一目見ただけで「改ざんされた書類」であることが分かるようになっています。

質疑応答

● DAIBOUCHOU

なるほど。紙だと追記されたのか元から記載されていたのか判断がつかないですが、電子契約なら明確ですね。それでは、次の質問です。今年 11 月にプラン改定が行われましたが、この改定によって契約単価の上昇、すなわち収益性の改善は見込めるのでしょうか。どの程度、契約単価が増加しそうですでしょうか？

■ GMO グローバルサイン HD 青山様



はい。今回のプラン改定では、サービス内容を分かりやすく再構成しました。これにより、契約単価は約 30% 増加すると見込んでいます。さらに、新規のお申し込み件数も従来より増えることを期待しています。従来はオプションの種類が非常に多く、お客様が最適な組み合わせを選びにくいという課題がありました。今回の改定では、利用規模や利用目的に応じて必要な機能をあらかじめパッケージ化し、4 つのプランに整理しました。これにより、お客様がより選びやすい構成になっています。

● DAIBOUCHOU

今までの平均単価はまだ公表されていないのでしょうか？ 1 社あたり、または 1 ユーザーあたりの単価のイメージはどれくらいですか。

■ GMO グローバルサイン HD 青山様

平均単価は公表していません。今回の改定によって、当社としては単価が約 1.3 倍、すなわち 30% 増加すると予測しています。

● DAIBOUCHOU

ということは、解約が増えなければ、ARR も単純計算で 1.3 倍になる、という理解でよろしいでしょうか？

■ GMO グローバルサイン HD 青山様

はい。その方向でしっかり伸ばしていきたいと考えています。

質疑応答

● DAIBOUCHOU

なるほど。原価が変わらないのであれば、単価増加分は利益にそのまま寄与するということですね。

■ GMO グローバルサイン HD 青山様

はい。私どものサービスは自社開発であり、原価の大部分が固定化されています。そのため、売上が伸びればその分だけ利益率の向上につながります。

● DAIBOUCHOU

なるほど。これは収益性の改善という点で非常に大きな材料になりますね。単価が 30% 伸びるというのはインパクトがあります。ありがとうございます。

では次の質問です。GMO トラスト・ログインについて伺います。競合に比べてコストパフォーマンスが高いとされていますが、どのようにして豊富な機能を低価格で提供できているのでしょうか。

■ GMO グローバルサイン HD 青山様

ありがとうございます。コストパフォーマンスの良さをご評価いただけて大変嬉しく思いますが、どちらでそのような評価をご覧になったのでしょうか。

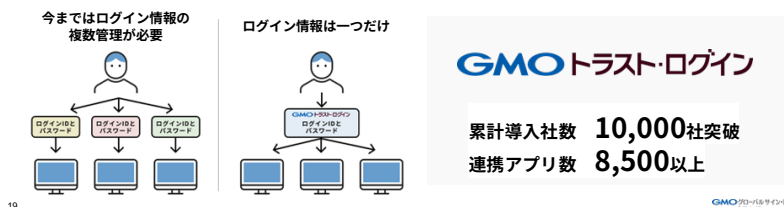
● DAIBOUCHOU

IT 製品の評価サイトで商品の名前を調べたところ、同じ機能を求めた場合でも御社のサービスは価格が安いという声が多く見られました。また、AI にも確認してみましたが、やはりコストが高いという評価が出ていました。

■ GMO グローバルサイン HD 青山様

｜ シングルサインオン (SSO) とは？

一度のログインで複数システムへ安全にアクセスできる仕組みです。
企業側が、社員のログイン情報をまとめて管理可能になるため、
セキュリティ強化と業務効率化を同時に実現できます。



ありがとうございます。GMO トラスト・ログインはシングルサインオン (SSO) のサービスで、1 度のログインで複数のシステムに安全にアクセスできる仕組みです。企業側から見ると従業員のログイン情報を一元管理できるため、セキュリティ強化と業務効率化を同時に実現できるサービスです。

質疑応答

安全な認証環境の提供、シングルサインオン (SSO) | GMO トラスト・ログイン

コスパの良い理由



圧倒的コスパにこだわったサービス設計

20

GMO グローバルサイン HD
#Gmailing

この GMO トラスト・ログインが「コスパが良い」と評価される理由は主に 3 点あります。

1 つ目は、運用コストの最適化です。安全かつ効率的なインフラ設計により、セキュリティを担保しながらスケーラブルな構成を実現しています。当社はインターネットのクラウドインフラを支える事業が原点にありますので、この分野は得意とするところです。

2 つ目は、国内外リソースを活用した自社開発です。日本だけでなく海外のエンジニアリングリソースも活用し、開発コストを抑えています。電子印鑑 GMO サインと同様、継続的に機能を迅速に拡充できる体制が整っている点も大きなポイントです。

3 つ目は、シンプルで直感的な UI 設計です。多くの SaaS では、導入前から営業担当が付き、導入後もサポートを受けながら活用を進めるケースが一般的です。一方、当社のサービスはオンラインで簡単に申し込みでき、そのままお客様自身で利用を開始できるよう設計されています。マニュアルを見なくても使い始められるよう、UI 設計を非常に重視しています。これにより、当社としてもサポートに必要なリソースを抑えることができ、結果としてコストパフォーマンスの高いサービス提供が可能になっています。

● DAIBOUCHOU

いいですね。企業に導入する際、社内には IT リテラシーの異なる方が多く、使いやすさは非常に重要だと感じています。使いやすければ管理部門の負担も軽減できますし、導入メリットは大きいですね。

また、最近は企業ごとにパスワードのルールが異なり、「特殊文字を入れる」「逆に入れてはいけない」「10 文字以上必須」など、条件がバラバラです。その結果、パスワードの使い回し問題も深刻化しています。こうした背景から、シングルサインオンの必要性が高まっているという理解でよろしいでしょうか。

■ GMO グローバルサイン HD 青山様

おっしゃるとおりです。一般的に、企業 1 社あたり平均で 30 種類ほどの Web サービス、たとえば Google Workspace、Microsoft 製品、Slack、Zoom など、多数の SaaS を利用しています。

これら全てに ID とパスワードを設定する必要があるため、覚えきれずに同じパスワードを使い回すケースが多く見られます。その結果、パスワード流出が企業へのハッキングの“入り口”になってしまう事例が数多く発生しています。こうしたリスクに対し、私どもは強固なセキュリティを提供し、企業をしっかり守ることを使命としています。

質疑応答

また、企業の IT 管理者の方々にとっては、退職者が出た際に利用していた SaaS のアカウント解約を忘れてしまい、ID・パスワードが放置されるという問題もあります。GMO トラスト・ログインでは、全従業員のアカウントを一元管理できるため、このようなリスクも防ぐことができます。簡単に全社員の ID・パスワードが管理できるということで、効率化もできます。

● DAIBOUCHOU

シングルサインオンによって「誰がどのサービスにログインしているか」が分かることで、部署ごとに勝手に SaaS を契約したり、個人でサービスを利用していたりする“シャドー IT”も可視化できますよね。会社全体で IT 資産がどのように使われているかを把握できるようになるという理解でよろしいでしょうか。

■ GMO グローバルサイン HD 青山様

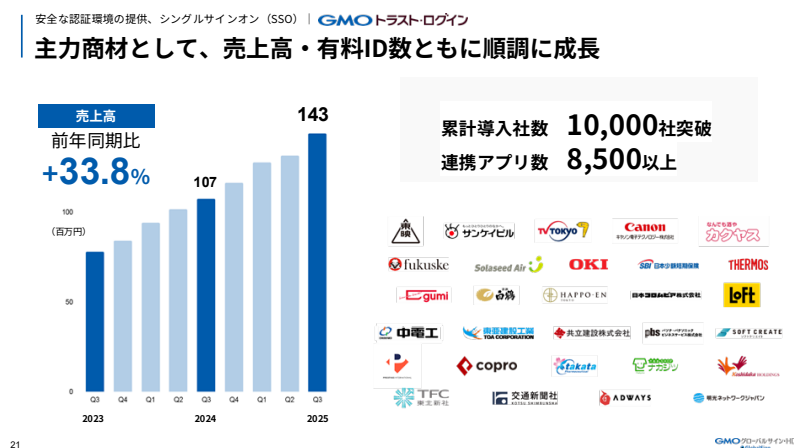
はい。すべてのログイン情報を記録していますので、問題が発生した時の原因調査や監査対応にも活用できます。必要に応じて正式な証拠としてデータを提出することも可能です。

● DAIBOUCHOU

ということは、IT 管理のコストや手間が削減され、企業全体を効率的に管理できるということですね。ログイン状況が見えるのは大きいですね。ありがとうございます。

では次に、証券口座の不正利用が社会問題になっていますが、こうしたセキュリティ意識の高まりによって、GMO トラスト・ログインの必要性や需要は増えているのでしょうか。

■ GMO グローバルサイン HD 青山様



はい。証券会社での不正ログイン問題が大きく報道されましたが、その多くは「ID とパスワードだけ」に依存したログイン方式が原因だったと考えています。従来は「ID とパスワードがあれば十分」という考えが一般的でしたが、現在ではそれだけでは守れないことが広く認識されてきました。これはセキュリティサービスを提供する立場としては当然のことで、利用者側にも理解が広がってきたのが今の段階です。こうした意識の高まりは当社サービスにも追い風となっており、第 3 四半期では売上高 1.4 億円（前年同期比 33% 増）、有料 ID 数も 26% 増と、順調に成長しています。

質疑応答

● DAIBOUCHOU

最近ネット証券でもパスキーでのログインが増えています、そのような方式にも対応しているのでしょうか。

■ GMO グローバルサイン HD 青山様

はい。当社は 2 要素認証を提供しており、パスキーに限らずさまざまな認証方式に対応できます。企業ごとに最適な認証方法を選んでいただくことが可能です。さらに、高いセキュリティが求められる企業であれば、全端末に証明書をインストールするなど、多要素認証のレベルをさらに高める仕組みも導入できます。

● DAIBOUCHOU

なるほど。このパソコン以外ではログインできない、といった制限を設けることも可能なのですね。

■ GMO グローバルサイン HD 青山様

はい。そのような設定も可能です。

● DAIBOUCHOU

ありがとうございます。では次に、御社の技術のコアとなる「電子認証」について伺います。御社は国内 1 位・世界 4 位の電子認証局を運営されていますが、電子認証局は一般的に馴染みが薄く、どのような役割なのかわかりにくい部分もあります。電子認証局の必要性や収益構造をわかりやすく教えてくださいませんか。

■ GMO グローバルサイン HD 青山様

電子認証局とは？

信頼できる第三者（電子認証局）が、人や組織が本物であることを確かめ、電子証明書を発行し、インターネット上で「本物の証明」をする技術です。



身近なところで
電子証明書は
活用されています

電子認証局という仕組みはかなり以前から存在しており、当社では 1996 年からサービスを提供しています。インターネットが一般に使われ始めた頃から生まれた仕組みで、企業が勝手に作ったものではなく、国際的なインターネットのルールに則って運用されている機関です。具体的には、暗号技術を用いてインターネット上で「本物であること」を証明する役割を担っています。いわばネットの信頼の基盤です。

分かりやすい例で申し上げますと、オンラインショッピングをする時や、投資家の皆さまが IR 情報を確認する時、皆さまが「当たり前」に安心してネットを使える社会を支えているのが電子認証局です。

また、冒頭でも触れた電子印鑑 GMO サインにおいては、契約書類が「いつ・どこで署名され、その後改ざんされていないか」を証明するのも電子認証局の役割です。

質疑応答

電子証明書を活用したSSLサーバ証明書



SSLサーバ証明書とは

Webサイトが“本物の会社”であることを証明し、安全な通信を保証する仕組みです。URLが「https://」で始まり、鍵マークが表示されているのは証明書の存在によるものです。
GMOグローバルサインは、この証明書を提供する**国内No.1・世界トップ4の電子認証局**です。

23

GMOグローバルサイン®
#GlobalSign

WebサイトのURLが「https」から始まり、ブラウザに鍵マークが表示されることがありますが、これも電子認証局が発行するSSLサーバ証明書によるものです。

信頼の基盤を担う、世界トップ4の国産電子認証局 | GlobalSign

高い信頼の実績、あらゆるインターネットサービスへ電子証明書を提供



24

GMOグローバルサイン®
#GlobalSign

収益構造については、電子証明書の発行および更新によって安定的に積み上がるストック型モデルとなっています。デジタル化の進展とともに需要が着実に伸びている領域です。

当社の電子証明書は欧米では請求書や卒業証明書などにも多く利用されており、電子印鑑 GMO サインと同業である世界大手の DocuSign 様や Adobe Sign 様にも採用されています。

契約書や一部の書類だけでなく、今後は「同意」や「署名」が必要なすべての文章が電子化されていきます。例えば、公的な文書、教育機関の証明書、建築の設計図、環境分野では産業廃棄物のマニフェスト、医療・創薬の領域では過去文書の保存など、幅広いビジネスシーンで電子証明書の活用が進みます。この分野のマーケット規模は国内だけで 2030 年には 1,680 億円になるといわれており、その中で当社も存在感を高めていきたいと考えています。

また、セキュリティカメラへの証明書搭載も海外では実績が出ており、アメリカのある州では警官が胸につけるボディカメラに当社の証明書が採用されています。セキュリティ問題が深刻化する中、「信頼できるカメラから送られた映像であること」を証明する重要性が高まっているためです。IoT でモノがインターネットにつながる広がりによって電子証明書のニーズはさらに拡大しています。

質疑応答

さらに AI にも目を向けると、最近話題になっている AI エージェントが、人間を介さず AI 同士で通信することが当たり前になる時代が来ます。その際、デジタル社会の中で“相互に信頼を確かめ合うための技術”として電子証明書が使われていきます。こうした背景から、電子証明書・電子認証は、これからの社会にとって欠かせない基盤技術になっていると考えています。

● DAIBOUCHOU

投資家の方だと、最近はフィッシング詐欺も増えています。ネット証券を装った偽サイトも多いですが、https の表示や企業ロゴが付いているかどうかなどで、正しいサイトかどうか確認できるという理解でよろしいでしょうか。

■ GMO グローバルサイン HD 青山様

はい、その通りです。

● DAIBOUCHOU

なるほど。電子証明書などを持っていることで、電子認証が必要なさまざまなサービスをコストパフォーマンス良く提供できる、ということですね。分かりました。

最近、VMC（企業ロゴ所有証明書）や e シール（電子社印）、そして C2PA（電子透かし）など、さまざまな認証技術を活用した新しいサービスが増えています。いずれも成りすまし対策やフェイク動画対策だと思いますが、これらの引き合い状況はいかがでしょうか。

■ GMO グローバルサイン HD 青山様

信頼の見える化、VMC（企業ロゴ所有証明書） | GlobalSign | GMO なりすましメール対策支援サービス

VMC（企業ロゴ所有証明書）とは？

メールに表示されるブランドロゴと企業の正当なサーバーを結びつけ、なりすましメールを防ぐ認証技術です。
受信者がひと目で「確かな企業からのメール」と判断できるようになることで、悪意ある“なりすましメール”から企業と顧客双方を守ります。



今お話いただいた新たなサービスはいずれも、インターネット上で「本物であること」を証明するため、認証技術を発展させて生まれたものです。セキュリティリスクが非常に高まっているため、企業様からの関心は大変高くなっています。

まず e シールについては、先ほどご説明した文書の電子化などで導入がどんどん進んでいます。

質疑応答

企業ロゴ所有証明書（VMC）については、成りすましメールを防ぐ認証技術として、最近特に注目を集めています。これは世界的に始まった新しいルールに基づいて作られた仕組みで、メールに表示されるブランドと企業の正当なサーバーを結びつけることで、成りすましメールを防ぐ認証技術です。これにより、企業から届いたメールが本物であるかどうかを受信者がひと目で判断できます。企業側にとっては、自社を守るだけでなく、お客様や取引先を守ることもつながります。

未来を守る信頼

耐量子暗号（PQC）



量子コンピューターにより
現代の暗号技術が破られるリスクに
対し、次世代の暗号技術を構築

コンテンツ認証・電子透かし
（C2PA）



「コンテンツの真正性保証」サービス
を開発。生成AI時代のフェイクコンテ
ンツ問題へ対抗

GMOグローバルサインHD
Knowledge

そして、もう一つご質問いただいた C2PA、それから耐量子暗号（PQC）といった領域については、未来に向けた投資の位置付けです。

たとえば C2PA は、最初にご質問で触れていただいたように、コンテンツの偽造が簡単にできてしまう AI 時代において、非常に深刻な社会問題となっている“フェイクコンテンツ”に対応する技術です。こうした課題に対処するため、海外の大手 IT ベンダーを含むグローバルな企業群がルール整備を進めており、当社も早い段階からこうした団体に参加し、実証実験を行っています。海外の放送局やカメラメーカーなどがグループを作り、具体的なプロジェクトが動き始めています。現時点では収益はまだほとんど立っていませんが、次の需要、そして新しいビジネスチャンスとして確実に捉えていきたいと考えています。

● DAIBOUCHOU

そうですね。最近、たとえば私が株を煽るような動画を AI で作られて拡散されるといったリスクもありますし、もっと大きな話でいえば、大統領の偽スピーチ動画のように、世界的に問題となるケースもあります。AI が高度化する中で、こうした状況に対応するために C2PA のような技術が必要になる、という理解でよろしいでしょうか。

■ GMO グローバルサイン HD 青山様

はい、その通りです。つい最近のニュースでも、音声の権利、いわゆる“声の権利”を守る団体が生まれています。では、その声が本物なのか、AI が勝手に作った偽物ではないのか。こうした点を証明していく必要が今後ますます高まっていくと考えています。

世の中の技術が進歩する中で、セキュリティはもちろん、フェイクコンテンツの問題など、さまざまな課題が出てきています。それらに対応し、“本物であること”を証明していく役割を担うものとして、電子証明書の重要性はさらに高まると考えており、社会の中で役割を発揮していきたいと思っています。

質疑応答

● DAIBOUCHOU

分かりました。ありがとうございます。次に、企業として AI 活用をどのように推進されているのか教えてください。

■ GMO グローバルサイン HD 青山様

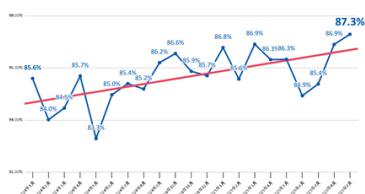
電子認証・印鑑事業 | GlobalSign | 電子印鑑なら GMOサイン

CS業務のAI化による営業リソース強化

カスタマーサポート業務のAI化を推進し、対応効率を大幅に向上。
今後は、創出した人員を営業活動へ再配置することで、収益機会の拡大と売上成長を加速。



SSLサーバ証明書 更新率推移 ※日本国内



27

GMOグローバルサインHD

すでに社内のさまざまな業務、例えばカスタマーサポート、マーケティング、営業部門などで AI を活用しています。

最近の新しい取り組みとしては、電子認証局の審査部門で AI 運用を開始しました。電子認証局は、証明書を発行するにあたり企業の実在性を審査しており、これまで数十名規模の人員で人手による審査を行っていました。この審査業務の AI 化がスタートしたことで、来年以降、数十名規模の業務負担を軽減できる見込みです。この効率化によって生まれた余力は、お客様の更新率向上に向けたアプローチや、新規営業の開拓といった“攻めの領域”に再配置していきます。コストを抑えながら、売上成長をさらに加速させることを目指しています。

● DAIBOUCHOU

ということは、証明書の期限切れを AI で防げるということですね。なるほど。また、期限切れで収益が一時的に途切れてしまうリスクを防ぐことができるわけですね。

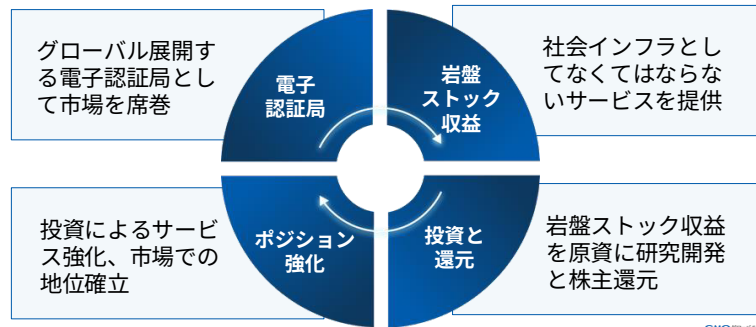
次に、成長中の重点領域の売上について伺います。今後、シェアが上がるにつれて成長率も加速する局面があると思いますが、長期的な見通しを教えてくださいませんか。

質疑応答

■ GMO グローバルサイン HD 青山様

価値創造の原動力 | 持続的な成長を生み出す循環

ストック型事業・グローバル展開・新領域への挑戦により企業価値向上を狙う



具体的な数値については現在開示しておりませんので詳細はお伝えできませんが、まずご覧いただいているこの循環図こそが、当社の中長期的成長を支える重要な要素になります。

当社には電子認証局という強固な基盤があり、その上で重点商材である「電子印鑑 GMO サイン」「GMO トラスト・ログイン」が現在の売上成長をけん引しています。これらの事業はストック型サービスであり、安定した成長が見込めるだけでなく、利用期間が長くなるにつれ利用量も増加するため、売上の成長が加速していきます。

例えば、電子印鑑 GMO サインでは、お申し込み後の利用データを分析すると、5 年後には企業内での利用数が 5 倍に増加しています。そして 10 年後には 10 倍以上に成長すると考えています。単に契約していただく月額料金だけでなく、ご利用が広がっていくことにより利用量に応じた課金が増え、売上がさらに積み上がる構造です。

GMO トラスト・ログインも同様で、企業が導入した後、ID 数、つまり社員数に応じて利用が広がっていきます。企業規模が大きくなれば必要な機能も増えていきますので、その分単価も上昇します。

このように、当社が現在特に成長しているサービスはすべて「固定料金＋従量課金」のモデルです。お客様に長く使っていただけるほど利用が増え、売上の成長が一段と加速する仕組みになっています。そして、こうして得られたキャッシュ・フローの一部を関連領域への再投資に回すことで、さらなる成長につなげる循環ができていていると考えています。

● DAIBOUCHOU

ということは、導入企業数が増え、その企業内での利用が拡大し、さらにオプションなど付加価値の高い機能が利用されることで単価が上がり、売上も伸びていく、そういう見通しということですね。

■ GMO グローバルサイン HD 青山様

はい。おっしゃる通りです。

質疑応答

● DAIBOUCHOU

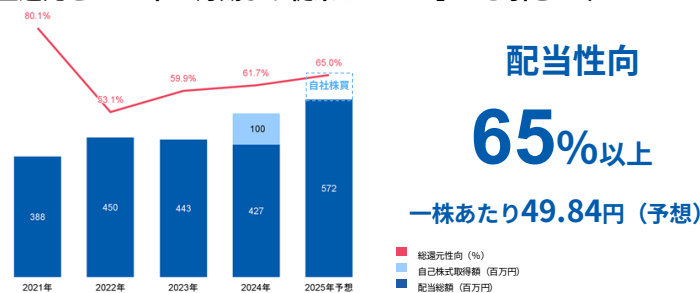
なるほど。分かりました。ありがとうございます。

次に、第 3 四半期決算について伺います。決算発表と同時に自社株買いも発表されました。昨年も同時期に実施されていたと思いますが、今回の自社株買いの理由を教えてくださいませんか。

■ GMO グローバルサイン HD 青山様

価値創造の原動力 | 配当性向

株主還元を2025年12月期より従来の「50%」から引き上げ



29

GMO グローバルサインHD

昨年まで当社は配当性向 50%を基本としておりました。そのうえで自社株買いも実施しており、株主の皆さまへの還元策の一つと位置づけています。

そして本年の 12 月期からは、配当性向を従来の 50%から 65%以上へと引き上げました。この高い配当性向に加え、自社株買いも実施する方針です。株主の皆さまにできる限り還元していきたいという考えからです。こうした還元が可能となる背景には、当社の事業がストック型ビジネスであり、非常に安定していて予測しやすいという特性があります。例えば、決算月が 12 月ですが、1 月の段階でほぼ年間の売上予想が立てられるほどです。売上が読めるからこそ、利益もしっかり確保しながら株主の皆さまへ安定的に還元できると判断しています。

● DAIBOUCHOU

潤沢なキャッシュ・フローがあり株主還元余地があること、さらに現状の株価が割安水準にあると経営陣が判断したことから、自社株買いを行ったという理解でよろしいでしょうか。

■ GMO グローバルサイン HD 青山様

はい、その通りです。当社の、いわゆる競合と比較しても、例えば PER で見ると海外の大手ベンダーの半分以下の水準です。私たちとしては満足できる状況ではありませんので、そういった点も踏まえた判断になります。

● DAIBOUCHOU

なるほど。SaaS 企業の決算を見ていると、最近は収益性の改善によって EPS が伸びているケースも多いです。今回、料金単価の引き上げもありましたので、売上だけでなく利益率の向上も今後期待できそうですね。

質疑応答

■ GMO グローバルサイン HD 青山様

はい。例えば電子印鑑 GMO サインは、ここ数年にわたり開発投資や広告宣伝投資を積極的に行ってきたため赤字の期間が続きました。しかし足元では完全に黒字化しています。ここからはさらに利益を生み出せるフェーズに入っています。GMO トラスト・ログインも同様です。このような状況から、利益率はさらに高めていけると考えています。

● DAIBOUCHOU

分かりました。そして稼いだ利益を配当性向 65% 以上という高い還元で株主に還元していただけるわけですね。

■ GMO グローバルサイン HD 青山様

はい。おっしゃる通りです。

● DAIBOUCHOU

ありがとうございます。今後の御社の成長に注目させていただきたいと思います。本日はありがとうございました。

■ 終わりのあいさつ

▲フィスコ 高井

青山様、DAIBOUCHOU 様、本日はありがとうございました。

最後に、青山様と DAIBOUCHOU 様からごあいさつをいただきたいと思います。

それでは、まず青山様、お願いいたします。

■ GMO グローバルサイン HD 青山様

本日はありがとうございました。今後も引き続き、個人投資家の皆さまにも分かりやすい会社説明・IR 活動を積極的に行っていきたいと考えています。

そして当然ながら、業績・利益をさらに引き上げ、今以上の成長を実現し、将来に向けて皆さまに夢を持っていただけるような会社にしていきたいと思っています。どうぞよろしくをお願いいたします。本日はありがとうございました。

▲フィスコ 高井

ありがとうございます。DAIBOUCHOU 様、本日の対談はいかがでしたでしょうか。

● DAIBOUCHOU

今回、電子認証局という仕組みは、普段はなかなか馴染みがなく分かりにくい部分も多いのですが、説明を伺ってその必要性を実感できました。自分の日頃のネット利用にも直結するサービスであることがよく分かりました。また、電子認証局をコアに、コストパフォーマンスの高い電子証明書サービスを SaaS として提供されている点、そして盤石なストック収入がある上に、今後は利益率も上がり、単価アップなどを通じて売上と利益の両方がさらに成長していきそうだという印象を持ちました。成長率の高い事業が売上構成比を押し上げていくことで、業績の上振れにも期待しています。今日はありがとうございました。

▲フィスコ 高井

ありがとうございました。これにて対談は終了とさせていただきます。皆様、ご視聴いただき誠にありがとうございました。

重要事項（ディスクレマー）

株式会社フィスコ（以下「フィスコ」という）は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したものです。フィスコは本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、的確性、信頼性等について、いかなる保証をするものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業への電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受け、企業から報酬を受け取って作成されています。本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。

本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品、有価証券その他の金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものでもありません。お客様が本レポートおよび本レポートに記載の情報をいかなる目的で使用する場合においても、お客様の判断と責任において使用するものであり、使用の結果として、お客様になんらかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、いかなる責任も負いません。

本レポートに記載された内容は、本レポート作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。フィスコは本レポートを更新する義務を負いません。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、フィスコに無断で本レポートおよびその複製物を修正・加工、複製、送信、配布等することは堅く禁じられています。

フィスコおよび関連会社ならびにそれらの取締役、役員、従業員は、本レポートに掲載されている金融商品または発行体の証券について、売買等の取引、保有を行っているまたは行う場合があります。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

■お問い合わせ■

〒107-0062 東京都港区南青山 5-13-3

株式会社フィスコ

電話：03-5774-2443（IR コンサルティング事業本部）

メールアドレス：support@fisco.co.jp